



操作手順書をよくお読みになって、ご使用ください。



- 注意①** なるべく平らな場所でご使用ください。
- 注意②** 発電機や機器の上に物を載せないでください。
- 注意③** 雨の際は、防雨カバーなどを装着し、軒下でご利用ください。
- 注意④** 稼働中に移動させないでください。
- 注意⑤** 使用後は連結ホースを外して保管してください。
- 注意⑥** 発電機の排気口の向きに物が無いよう設置してください

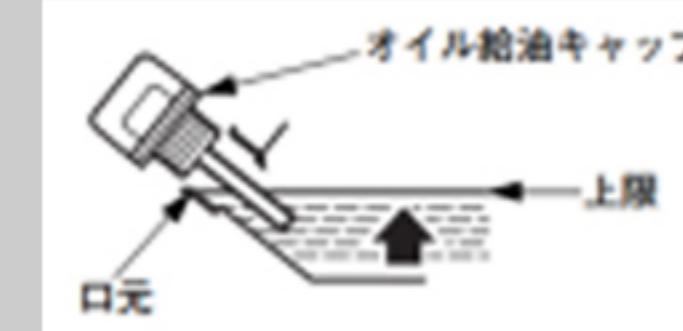
JPG製品に関するお問合せ頂く際は、
お客様へ正確、迅速にご対応させて頂く為に
あらかじめ右記の事項をご確認のうえご相談下さい。

- (1) 製品名：JPG1600m(H)
- (2) ご購入年月日：
- (3) 販売店名：
- (4) フレーム号機

■使用前準備



【エンジンオイル】
事前に発電機本体の
【エンジンオイル】を
しっかり補充してから始動して下さい。



19.5Lタンクを複数缶同時にご使用される場合は
必ず[全て同じ量でご準備頂きご使用下さい。]
※片方が空になってしまっても、発電機はガソリンを吸い続けてしまう為、
エアを嚙んでしまい故障の原因となります。



■正しい運転操作

- ①.燃料の量を点検します。
 - ②.専用燃料タンクの排気バルブを緩めます。
※タンクを使用する前に排気バルブを緩めてエアが通るようにしてください。
エアを抜かないで使用すると、ホースを接続する時に気化したガス圧の影響で
ガソリンが飛び出る可能性、また使用中にタンク内が真空になり
ガソリンが吸えなくなってしまい発電機が停止してしまう可能性があります。
 - ③.燃料タンク及び発電機にポンプ付きステンレスメッシュホースを接続します。
※ハンドポンプが付いている方を発電機に接続して下さい。
 - ④.エンジンスイッチをONにします。
 - ⑤.ハンドポンプを固くなるまでもみます。
 - ⑥.チョークレバーを右へ引きます。
※寒い時期やエンジンが冷え切っている時に使用します。
※エンジン回転が安定したら早めに戻して下さい。
 - ⑦.エコスロットルが”切”になっているか確認してください。
 - ⑧.リコイルスターターを強く引きます。
※エンジンが始動するまで数回引いて下さい。
エンジンが始動しない場合は⑤と⑧を行って下さい。
 - ⑨.エンジン回転が安定してからチョークレバーを左へ戻します。
- (⑩のIGS入力は弊社のインテリジェントタンクシステムと併用する際に使用します)

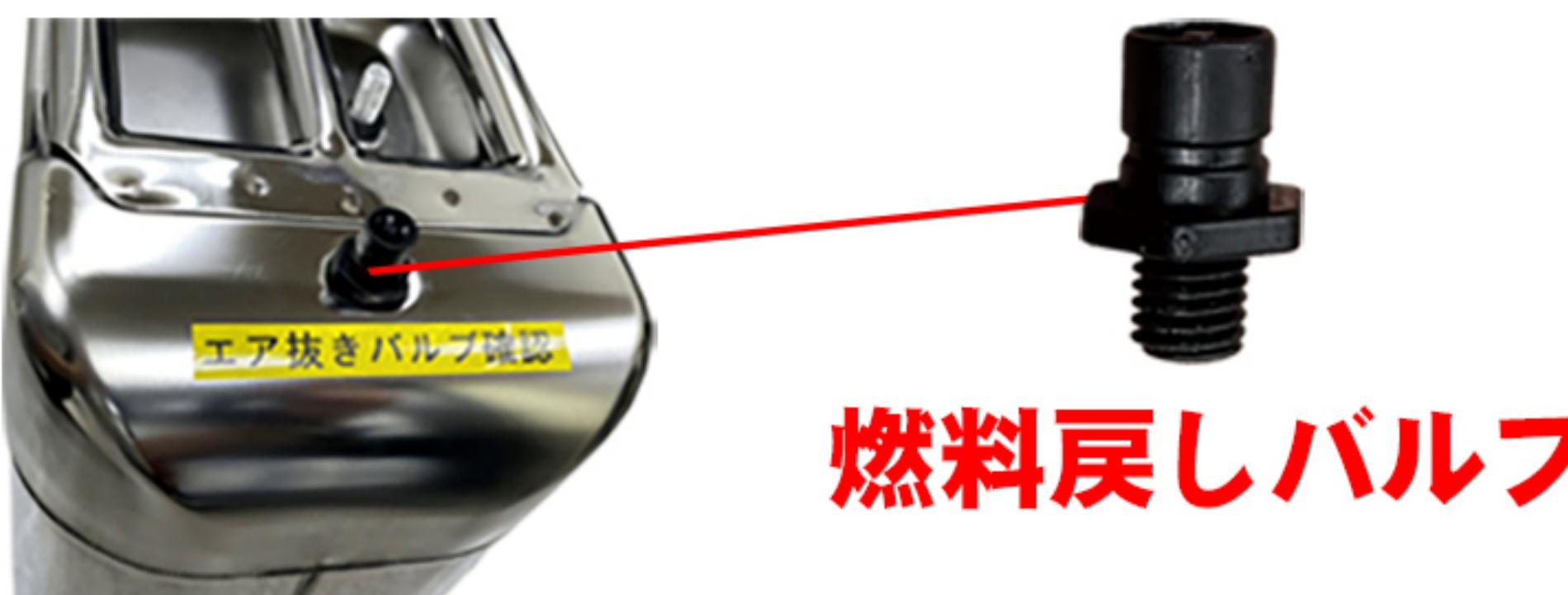


■正しい停止操作

- ①. 使用機器のスイッチを切り、プラグを抜きます。
- ②. 『正しい運転操作』の④→③→②の順に操作して下さい。
※燃料ホースを抜く際は、燃料の液垂れにご注意下さい。
右の[■燃料ホースの正しい片付け方法]もご参照下さい。
- ③. 長期保管の場合は空運転し、ガス欠確認後、
キャブレタ内のガソリンをドレンチューブより排出し、
ガソリンを完全に空にしてください。

[■燃料ホースの正しい片付け方法 -ホース内に残った燃料を19.5Lタンクに戻す方法-]

- ①. 19.5Lタンクの排気バルブを外し、燃料戻しバルブを取り付けます。



燃料戻しバルブ

- ②. エンドバルブを各ホースに取り付けます。



エンドバルブ

- ③. 発電機に差していた側の
燃料ホースを①の燃料戻しバルブへ
接続します。
接続向きはポンプ側を下、
ジョイント部分を上向けにします。
- ④. 写真の様に持ち、ハンドポンプを押して
ガソリンを19.5Lタンク内へ戻します。
- ⑤. 燃料ホースを外し19.5Lタンクのバルブを
燃料戻しバルブから排気バルブに戻します。
- ⑥. ②で燃料ホースに取り付けたエンドバルブを
外します。
- ⑦. 燃料戻しバルブとエンドバルブは、
紛失しない様、ご使用後は必ず元の位置にお戻し下さい。

